



# ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 1月号 (No. 18)

令和4年1月7日発行



## 3学期のスタート!



「あけまして おめでとうございます」新しい年、そして、3学期がスタートしました。「子どもは風の子、元気な子！」風が強く寒さの厳しい糸魚川の冬ですが、子どもたちは元気に登校し、久しぶりの友達との再会を喜んでいました。“シーン”としていた校舎に明るい子どもたちの声が響き渡り、本来の学校の姿が戻ってきました。教職員もやる気満々で今日の日を迎え、子どもたちとの3学期の学校生活を楽しみにしているようでした。

保護者の皆様には、子どもたちを元気に学校へ送り出していただいたいただき、ありがとうございます。冬休みの生活の様子はいかがでしたでしょうか。昨季よりは外出する機会も増え、初詣や初売りなどに掛けたご家庭もあったのではないのでしょうか。それでも、例年よりは家で過ごすことが多かったことと思います。子どもたちは、家族の一員としての役割を果たすことができたでしょうか。時間を有効に使うことができたなら良かったと思います。

ところで、今季も昨年のような豪雪になると言われていたために心配していたのですが、今のところは思ったほどではなく“ほっ”としています。この先、節分の頃までは油断できませんが、雪による日常生活への支障が少ないことを願っているところです。

心配と言えば新型コロナウイルスも同様です。減少傾向にあり良い方向に向かっていると受け止めていました。しかし、オミクロン株の発生により徐々に感染者数が増えてきています。ニュース等の報道によれば、この変異株は感染力が強く、既に市中感染も起こっているとのことです。病院の受け入れ体制や内服薬の準備、3回目のワクチン接種などの対策がなされておりますが、安心はできません。学校では、今後も継続して感染予防対策に取り組んでいきたいと思っております。

さて、3学期は、1年の仕上げの学期と言われます。1年間の学習を確実に自分のものとするとともに、進学、進級に向けての心構えや態度を養っていく大切な時期になります。一日を大切にして教育活動を進めて行きたいと考えています。「ひすい」の教育目標は、右のとおりです。それぞれの学部・学年・個に応じた「ひすいっ子」目指して、がんばります。3学期もよろしくお願いいたします。



## 新しい職員を紹介します!

12月の「保健だより」でお知らせしたように、子どもたちの保健指導や健康管理等をして下さっていた養護教諭の高木先生が出産、育児のために12月27日からお休みに入りました。

ついては、3学期からの後任の先生が着任しましたので紹介します。ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、市内の小・中学校で養護教諭をされていた経験豊富な先生です。



いな ひろこ 先生  
伊奈 裕子 先生

ひすいの里総合学校のみなさん、こんにちは。高木先生の代わりに1月から保健室にいます。

私はお散歩が好きです。晴れている日の青空、季節の山や花、気持ちよく吹く風がいいですね。冬はスキーも大好きです。子どもたちの名前を早く覚えて、笑顔で楽しく過ごしていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



入賞 おめでとうございます！



令和3年度 新潟県特別支援学校 いじめ見逃しゼロ 標語・ポスターコンクール

☆金賞

小学部児童



大すきな友だち わらっていると ぼく、うれしいよ

## 3 学期の学校生活（生活・保健・給食）

今日の始業式では、生徒指導部（池滝先生）、保健教育部（伊奈先生）、給食教育部（横浜先生）から、それぞれ3学期の学校生活に関するめあてについての話がありました。以下に紹介する内容は、家庭生活においても大切なことです。学校と家庭が協力して子どもたちの指導に当たっていきましょう。

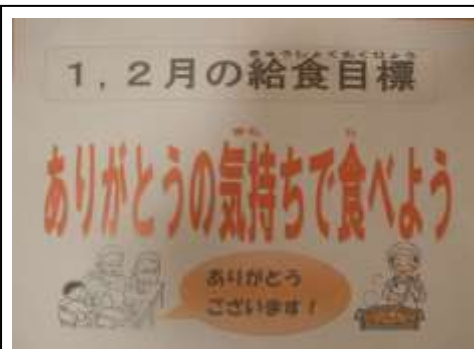


丁寧な言葉遣いは、相手への気遣いとともに自分自身の印象をよくするものです。「おねがい」→「おねがいます」、「ありがとう」→「ありがとうございます」など、最後まできちんと話す（伝える）ことが大切です。

場面や相手によって遣い分けることができると素晴らしいのですが、基本は丁寧な言葉できちんと話すことです。日常生活の中でしっかりと実践していきましょう。



本格的な冬の到来とともに、寒さも一段と厳しくなってきました。そこで大事なのが、寒さに負けない体を作ることです。そのためのポイントは、①運動すること、②好き嫌いをなく食べること、③気温に合わせた服装をすることです。これらのことは、新型コロナウイルスへの抵抗力をつけることにもつながります。空気が乾燥し、感染症が流行しやすい冬季は特に意識したいところです。健康を維持するためにがんばりましょう！



給食を食べるとき「いただきます」と言いますが、誰に対して言っているのでしょうか。献立を考える栄養教諭の先生、給食を作る調理員さん、食材を運ぶ運転手さん、野菜を育てる農家さん、魚を捕る漁師さん、牛や豚を育てる畜産農家さんなど、たくさんの方が給食に関わっています。1月は給食週間が予定されています。毎日の給食を「ありがとうございます！」という感謝の気持ちをもって食べましょう。

